

よしみきかく

冬木立

自然は様々な美の形を創る。木枯らしが吹き緑薄れた冬、木々が絡み合い思わず光景を見せる、ぼくは喜びのあまり心を躍らせたふるさと吉見町の風景に

(吉見総合運動公園で撮影)

撮影・文 長 洋弘さん(写真家・作家 南吉見)

11号
2026.2
No.178

7年12月定例会

- 議案を問う 11名の独自視点 …… P2～8
- 議案審議の結果は? ……………… P9
- 二十歳の集いインタビュー…… P10、11
- 先進事例に学ぶ 視察報告 …… P12、13
- 町の考えを問う 一般質問に9名… P14～19

12月定例会

12月定例会は、12月2日（火）から12月5日（金）までの4日間の会期で行われました。

条例の制定と改正、請負変更契約、令和7年度一般会計、特別会計等補正予算など19議案が上程され、いずれも可決、同意されました。

主な議案の内容

※紙面の都合上、主な質疑を掲載しています。
また、議案番号順ではありません。

議案 81

令和7年度吉見町一般会計補正予算（第4号）
1億2105万円2千円を追加し、予算総額92億3292万8千円に

賛成
多数

主な歳入

（1万円未満切り捨て）

○公共施設照明設備LED化事業債	640万円
○財政調整基金繰入金	3947万円
○レスパイトケア事業費補助金（県1/2補助）	81万円
○埼玉県魅力ある地域づくり事業補助金	2500万円
○企業版ふるさと納税寄付金	2000万円
○企業版ふるさと納税基金繰入金	255万円

主な歳出

（1万円未満切り捨て）

①給食センター照明設備LED化工事費	709万円
②情報保守管理事業（通信運搬費）	228万円
③在宅障害者生活支援事業（介護者への支援サービス）	162万円
④フレンドシップ・ハイツよしみ維持管理事業財源組替	2500万円
⑤地域活性化事業補助金	2255万円
⑥フレサよしみ空調機器点検・部品交換費	616万円

1 給食センター照明設備LED化工事費



宮尾美千代
議員

予定通りではなく今年度中に施設全体を完了させるよう変更したのは。

物価や人件費高騰の状況、LED切り替え後の電気料金等、早期に完了した方がより経費節減に繋がると考えた。

LED器具について、当初予定の数量と今回の補正予算で計上している数量は。

当初予定が249台、今回の補正予算で計上しているのが75台。

単純に計算すると、単価的には補正予算で計上されている方が高いと思われるが理由は。

調理室や洗浄室などは、機器単価が比較的高い。天井が高く足場設置などの経費がかかる。



教育総務課長

1 給食センター照明設備LED化工事費



岩崎 勤
議員

LED一ヵ所あたりの工事単価は。また、ボイラーアップを2ヵ年でする理由は。

単純計算で9万5000円。ボイラー入札を試みたが不落だったため、7年度中に再度入札して、8年度に施工を期したい。

足場を組むとはいってLED設置として高い印象だ。見積は適正か。

業者から参考資料を取り寄せ、職員で積算した。



教育総務課長

2 情報保守管理事業

ガバメントクラウド利用料の不足のためとの説明だったが、理由は。

法令により令和7年度までに標準準拠システムの移行が求められており、本構成が確定し、見込みを上回る利用料・関連費用が必要になったため。



秋山 真美
議員

※ガバメントクラウド…政府が提供する共通のクラウド基盤。各府省庁や地方自治体の情報システムを集約・標準化する取り組み



総合政策課長

3 在宅障害者生活支援事業

レスパイトケア事業補助金の増額の理由は。サービス利用者が増えたのか。

利用者数は変わらない。年度途中に、サービス利用回数の上限が増えたことに伴うもの。



長寿福祉課長

※レスパイトケア…在宅で介護や育児を行っている方が一時的にケアから離れてリフレッシュできるよう支援すること

4 フレンドシップ・ハイツよしみ維持管理事業財源組替

小宮 榮
議員

当初、4億円以上使わないということだったが。

9月議会で予算が承認され、今回県補助金の内示をいただき、活用するため財源組み換えを行う。



6000万円かけて直しても町民にとっては何のメリットもない。道路なら舗装がみんな直るが、町長、副町長の考えは。

施設の老朽化や休止期間もあったためオープンしてみないと分からない危険性もあるが、皆さま方のご理解によりこぎ着けた事業。まずはオープンに向け事業を進め、精査していきたい。

4 フレンドシップ・ハイツよしみ維持管理事業財源組替

杉田 しのぶ
議員

フレンドシップハイツ・よしみの進捗状況は。

12月9日に予定している入札に向けて、公告をしている。



9月議会で予算化されてから、これまで時間を使っている理由は。

設計業務資料内容の再確認、精査、図面作成および追加資料の提出等に一定の時間を要した。

工期はいつまでで、完成後、オープンまでどれくらいの見込みなのか。

工期は令和8年3月31日。オープンの見込みは町としては夏頃を希望している。具体的に決定したら、いち早くお伝えできるようにする。

5 地域活性化事業補助金

柳谷 泉
議員

2255万円の内訳で、企業版ふるさと納税2000万円と、基金255万円の具体的な内容は。

武蔵ヒートベアーズのユニフォームに「吉見町」を掲載しPR。プロスポーツによる技術提供などで学校や部活支援を追加実施。



2000万円の企業寄附は、指定された寄附として扱う理解でよいか。

武蔵ヒートベアーズの事業提案に基づく寄附で、この事業に充てる指定寄附として扱う。

他自治体で寄附企業の関連会社が事業を行い、取消事例がある。使途について寄附企業に利益を及ぼす問題はないか。

町の取り組みは寄附企業には利益が及ばず、補助金先も異なるため問題ないと認識している。



6 フレサよしみ空調機器

福井 學
議員

開館から20年たち、修繕が必要な箇所が空調に限らず多くなっている。昨年8月下旬、全館で冷房が効かなくなったりした事案の説明を。

7月下旬に2号機が不調となり、8月中旬に故障。1号機で運転していたが、猛暑日が続き冷房が効きづらい状態に。9月中旬に部品交換をし、現在、正常稼働。



今回の補正で修繕する内容は。

メーカーの部品供給が終了するため2台の冷温水発生機のオーバーホール等を実施。空調機器の延命化を図り、近い将来の空調システムの更新へつなげたい。

賛成



フレサ空調でまちの魅力を高めて

福井 學 議員

フレサの空調機器はメーカーの部品供給が今年3月末をもって終わることから、それ以降の修繕が極めて困難。そのため今回の補正により、冷温水発生機を2台同時に止め、

大掛かりに点検と部品交換をすることで延命化を試みる。町民会館は昨年10月から料金を改定し、町外在住者には少し割高な料金になっていることから、空調が故障して利用者の皆さんにご迷惑をおかけするようでは困る。猛暑でも空調が効く安心感、吉見町にはフレサがあるというまちの魅力を高める努力を続けるべき。

議案 68

こども誰でも通園制度を町に定める条例

賛成全員

就労用要件問わず 保育所を一時利用

- 【目的】**すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備し、すべての子育て家庭に対して、支援を強化。保護者の就労要件を問わず、保育所を月一定時間利用できる制度。
- 【対象】**6ヶ月～満3歳未満で保育所等に通っていない子ども
- 【利用時間】**月10時間まで
- 【利用料】**未確定（ご負担いただく予定）
- 【開始時期】**令和8年4月～

伊藤えりか
議員

令和8年度より実施予定の制度化に合わせ、国のシステムを活用することだが、利用者はどのように利用するのか。

開始前に国のシステムへよしみけやき保育所の情報を登録する。利用者は申請を行い、認定後に施設の利用申し込み等ができるようになる。

認定に関して申請の受付期限などは決まっているのか。

詳細は今後決定していく。システムを活用し、認定の申請について随時受付ができるが、利用申し込みの前に施設との事前面談を行う。

子育て支援
課長

受け入れ人数は現在3名の予定とのことだが、職員配置に変動はあるのか。

入所状況を考慮しながら、担当保育士を配置する予定。

大野 陽康
議員

町には本条例に該当する事業所が何カ所あるのか。また、令和8年度当初開設する予定の事業所はどこか。

よしみけやき保育所の1カ所であり、令和8年度当初実施の事業所は、同保育所の予定である。

子育て支援
課長

議案 71

町長、副町長、教育長の期末手当の引き上げ
年間支給月数を4.6月から4.65月に

賛成多数

役職	年間引き上げ額
町長	4万1520円
副町長	3万5280円
教育長	3万3900円

反対



状況が整った段階で判断すべき

杉田 しのぶ議員

町長等の期末手当の増額は、人事院勧告に連動ではなく、行政運営の状況、政策遂行の実績、町民の受け止めも含めて、総合的に判断すべきと考える。

この間の町の状況は、統合小学校の整備が当初の計画よりも遅れおり、大規模事業の先延ばしは町民にとって大きな財政的損失となる。基本設計見直しの重要な中身も今の段階ではっきりしていない。

学校統合問題の丁寧な説明、未来に責任ある立場で速やかに進め、状況が整った段階で判断すべきとの立場で、今回は据え置きが妥当と判断し反対。

議案 72

議員の期末手当の引き上げ
年間支給月数を4.6月から4.65月に

賛成
多数

役職	年間引き上げ額
議長	1万8420円
副議長	1万4820円
委員長	1万4520円
副委員長	1万3920円
議員	1万3820円

反対



今回は据え置きが妥当

杉田 しのぶ議員

議員の期末手当の見直しは、人事院勧告に自動的に連動するものではなく、県内町村との比較、人口規模における比較を始め、議会活動の実態や町民の受け止めも含めて慎重に判断すべきと考える。

議会は町民からの負託を受け、行政を監視し、政策を提案する立場であり、その役割を果たすにあたっては、町民の信頼が何より重要。

町長等の期末手当の引き上げに反対しながら、議員の引き上げに賛成という対応では、町民の理解が得られない。今回は据え置きが妥当との立場で反対。

議案 76

災害時に地元以外の水道事業者でも工事を施工できるよう規定を改める

賛成
全員小宮 榮
議員

他町村の業者も町内で仕事ができるようになるが、地元の管工事組合の仕事が減ることはないのか。

本条例改正は非常時のもの。通常の工事の発注は想定していない。



副町長

柳谷 泉
議員

給水装置工事主任技術者は国認可だが、排水設備工事責任技術者は県協会認可。他県業者が災害時に来る際、埼玉県認可がない場合の対応は。

排水設備工事責任技術者は、他県においても、試験内容は埼玉県と共通の内容となっているため問題ないと認識。



水生活課長

災害時に、他県業者の資格や登録をどのように確認し、どの手順で対応するのか。

他自治体発行の登録証、ホームページでも登録店が確認できる。災害時に混乱しないよう、平時から他自治体の例も参考に準備する。

能登半島地震断水被害を教訓に

令和6年能登半島地震では、上下水道施設の甚大な被害を受け、最大約14万戸が断水しました。

その後、被災地では自治体が管理する配水管が復旧した後も、個人が管理する宅地内の給水管の復旧が遅れ、家庭で水が使用できない期間が長期化しました。

断水が長期化した原因と今後の対策のために

工事担い手業者の不足、地元業者の被災、工事需要の増大により、業者確保が困難となりました。これらの課題を解決するため、災害や非常時に地元業者の確保が困難な場合に、他の地域の業者による工事を可能とするため、条例を改正しました。



議案 77

町民体育館の使用料引き上げ

賛成
多数小宮 榮
議員

空調設備を設置したため使用料を値上げする。中学生以下の子どもが1万円で借りる人がいるのか。

中学生以下は一般の半額の料金となっており、1万円は、全面を12.5時間使用する場合の料金。



生涯学習課長

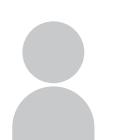
もともと空調設備の設置には反対した。子どもの育成のためにも使用料を下げられないか。

減免がありスポーツ少年団等の子どもの使用には配慮を行っている。

杉田 しのぶ
議員

使用料を見直すにあたり、オールシーズンで一律にした理由は。

先進自治体の事例で、時間制では体育館内が冷え切らいうちに活動を終えてしまうなどの苦情を始め、シーズン制では冷房・暖房の運転期間を明確に定めることが困難などの課題が多くあったため。



生涯学習課長

今回約3倍の使用料引き上げとなるが、他自治体の具体的な料金設定は。

バスケットコート1面分で町では1時間あたり800円のところ、草加市は1590円、本庄市1600円、朝霞市1050円。

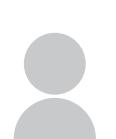
使用料改定だけでなく、減免基準の見直しも予定しているとのことだが、利用者への事前の周知は。

スポーツ少年団には10月に開催した理事会で、全額から半額免除に見直すことを説明。他の使用者にも、窓口等で使用料見直しを周知している。

柳谷 泉
議員

スポーツ少年団へ説明しているとのことだが、子どもに負担させるべきではないと思うが。

団体の意見を伺っており、利用者に一定の負担をお願いしていく考え方には変わりはない。



町長

4月
から大人料金で比較（中学生以下は半額）
町民体育館どれくらい使用料が上がるの？

バドミントンで1面利用

【2時間利用】
250円⇒400円に

【4時間利用】
250円⇒800円に

バスケットボールで半面利用

【2時間利用】
1,000円⇒1,600円に

【4時間利用】
1,000円⇒3,200円に

大会で全面利用

【4時間利用】
2,000円⇒6,400円に

【全日使用】
6,000円⇒20,000円に

※現行の午前・午後・夜間の利用区分（4時間単位）から、1時間単位の料金体系に改正
※このほかに「部活動使用の全額免除」などの減免規定があります。

議案 78

B&G海洋センタースポーツ館の使用料引き上げ

賛成
多数



小宮 榮
議員

中学生以下の使用料3万円は高いと思う。
子どもに負担させないように出来ないか。

3万円の使用料は、アリーナの目的外利用として設定しているもの。子どもが通常使用する場合、この区分の適用はない。



生涯学習課長



杉田 しのぶ
議員

アリーナ「その他の使用」、中学生以下全日3万円となっているが、その他使用とはどういう時を想定しているのか。

スポーツ、レクリエーションなど体育館の設置目的に合わない利用があった場合を想定し、3倍の料金設定をしている。



生涯学習課長

過去に該当する実績は。

プロレスの団体がアリーナを利用したことがあり、プロの興行用のスポーツであったためその他使用の料金をいただいた。



新井 寛雄
議員

変更点を町民に分かりやすくお知らせする方法は。

広報やホームページ、SNSなどを通じ、利用時間と料金の変更点を、丁寧に説明する。



生涯学習課長



大野 陽康
議員

アリーナ「その他の使用」が一般と中学生以下が同額になっているのはなぜか。

体育館の設置目的に合わない利用申請があった場合は、減免の規定を設けていない。



生涯学習課長

賛成



町民の負担に配慮した見直し

杉田 しのぶ 議員

今回の条例改正は、空調設備の導入により発生する電気料金相当額を現在の使用料に必要な範囲で上乗せするもので、他自治体と比較をしても、町民の負担に配慮した見直しとなっている。議案第77号、78号は同様の内容。

減免基準の見直しもされ、新たな負担が生じる町内の団体もある。空調設備運用開始後においても、利用者の声を丁寧に受け止め、運用コストと使用料の検証を行い、必要に応じて運用面の改善を図ることを申し添えておく。

質疑で確認のとおり妥当な見直しと判断し賛成。

議案 79

町民体育館およびB&G体育館の空調設備設置にかかる追加工事

賛成
多数



小宮 榮
議員

町発注の公共工事で最近、見落としが相次いでいる。その多くは設計段階での町の対応に問題があったのでは。

町の調査不足は認めざるをえない。利用者の安全を考えれば今回の工事は必要で、今後は厳しく精査する。



町長

議案 86

令和7年度吉見町一般会計補正予算(第5号) 約3000円分おこめ券 町民に配布

賛成全員

主な歳入

○物価高騰対応重点支援(推奨事業メニュー分)
地方創生臨時交付金 6705万円

(1万円未満切り捨て)

小宮 榮
議員

おこめ券の配布について、町民に新聞等で周知してはどうか。

吉田 克之
議員

経費の問題で配布しない自治体もあるが、1人当たりの金額と配布枚数は。

杉田 しのぶ
議員

物価高騰対応重点支援として、町がおこめ券にした理由は。

福井 學
議員

「早期」とは、いつ頃配布の予定か。

おこめ券を扱っている店舗の周知をする考えは。

主な歳出

○おこめ券配布事業

(1万円未満切り捨て)

6705万円

記者クラブに掲載いただけるようプレスリリースを送りたい。

副町長

1人当たり440円券を7枚、3080円分を配布予定。世帯ごとにまとめて配布する。

総合政策課長

券の使用は、各店舗の取り扱いによる。

地域商品券の配布等も検討したが、作成印刷に時間がかかる。国が早期の支援を可能にするため取り組んでいるおこめ券の配布が効率的と考えた。

総合政策課長

年内に発送できるよう準備を進めたい。

商工会と協力しながら、町内の利用できる店舗の周知に努めていきたい。

国は1人当たり3000円を目安とすると推奨していることから、町は同等の金額を計上した。

総合政策課長

国は令和8年9月末を使用期限としているため、町もこの券を使用する。

人 事

固定資産評価審査委員の選任同意

新井久夫氏を選任同意(再任)しました。

上砂在住



町議会を傍聴してみませんか

吉見町議会 3月定例会

3月2日(月)から開催される予定です。

耳の聞こえにくい方にはイヤホンの貸し出しを行っています。お気軽に越しください。

詳しいことは、町議会事務局までお問合せください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

定例会・臨時会の本会議を動画配信しています。
ライブ配信または録画配信は、この二次元コードを読み込んでご覧ください。

吉見町議会 配信

Q 検索



議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	柳谷	秋山	尾崎	岩崎	杉田	小宮	宮崎	
議案第68号	吉見町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める	P4	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第69号	吉見町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例 東松山都市計画に定めた大和田地区地区計画の建築物に関する内容について制限を定める	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第70号	吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告等に鑑み、一般職職員の給与について改定	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第71号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 町長等の期末手当の支給割合を改正	P4	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長
議案第72号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 議会議員の期末手当の支給割合を改正	P5	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長
議案第73号	吉見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第74号	吉見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第75号	吉見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第76号	吉見町水道事業給水条例等の一部を改正する条例 災害その他非常の場合における給水装置工事及び排水設備等工事を行うことができる事業者等の特例を定めること、その他所要の規定の整備	P5	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第77号	吉見町民体育館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 空調設備の設置に伴い使用料を改定	P6	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第78号	吉見海洋センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 空調設備の設置に伴い使用料を改定	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第79号	請負変更契約の締結について 町民体育館及びB&G海洋センター体育館空調設備設置工事の工事内容の変更	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第80号	町道路線の廃止について 公共用財産の用途廃止のため	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第81号	令和7年度吉見町一般会計補正予算（第4号） 92億3292万8千円（1億2105万2千円増額）	P2・3	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第82号	令和7年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第3号） 総額は変更せず、歳出予算を補正	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第83号	令和7年度吉見町水道事業会計補正予算（第2号） 給与改定に伴う人件費の増額	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第84号	令和7年度吉見町下水道事業会計補正予算（第3号） 給与改定に伴う人件費の増額、修繕費の増額	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第85号	吉見町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 任期満了に伴い新井久夫氏を再任	P8	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第86号	令和7年度吉見町一般会計補正予算（第5号） 92億9998万2千円（6705万4千円増額）	P8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

令和8年二十歳の集い(吉見町成人式)



令和8年二十歳の集い(吉見町成人式)が1月11日、町民135人でした。この集いは新成人の実行委員会が昨年の夏からさんが実行委員会を代表し、「どのような形であれ、自らが納ばを述べました。集いに先立ち、夢や未来への抱負を聞きました。

町議会としても、新成人の皆さまが自分らしい生き方を大切願っています。

住みよいまちづくりのために、皆さまの声を議会に届けてく

「日本語教師になります」(あおいさん)

「看護師になります」(あやかさん)

「俳優になり色々な人に希望を与える人になりたい」(おきとさん)

「国家公務員になる」(りささん)

「教員になりたい」(はるなさん)

「スーパーの店員を頑張る」(ほのかさん)

「人生をエンジョイする」(たいせいさん)

「結婚をしたい」(しゅうとさん)

「結婚をしたい」(まおさん)

「健康に生きる」(あやのさん)

「笑顔で生きる」(ゆいさん)

「素敵なお嬢さんになる」(なのはさん)

「看護婦になる」(はるかさん)

「資格の獲得」(まりなさん)

「楽しく過ごす」(ちはるさん)

「楽しむ」(もえさん)

「健康第一で長生きする」(さちこさん)

新成人 夢おおきく

会館大ホールで開かれました。対象となった新成人は前年と同
ら企画、準備し、当日の運営も行いました。新成人の加藤千尋
がとうちひろ
得できる幸せを追い求め、共に歩んでいきたい」と誓いのこと
た。

にしながら、社会の一員として歩みを重ねていくことを心から

ださい。

- 「教員になりたいです」(もえさん)
- 「薬剤師になりたいです」(ほのかさん)
- 「量子化学の研究職員」(もりひろさん)
- 「公務員になる」(はるきさん)
- 「教員になる」(こうきさん)
- 「建築デザイン会社で働く」(はるきさん)
- 「教員になる」(しゅうへいさん)
- 「幸せになりたい」(ゆなさん)
- 「幸せになりたい」(さえさん)
- 「トリマーになりたい」(まこさん)
- 「調理師」(みえさん)
- 「就活がんばります」(るなさん)
- 「ゲーム制作をがんばりたい」(あいこさん)
- 「犯罪心理学を極めたい」(ねむさん)
- 「薬剤師」(ののかさん)
- 「幸せな家庭を築きたい」(ひなたさん)

新成人の皆さんおめでとうございます。



LINEを利用した がん検診の予約システム

町では町民のがんによる死亡率減少を目指し、がんの早期発見と適切な治療に結び付けるため、健康増進法に基づく各種がん検診を実施しています。こうした中、令和5年度からLINEによる、がん検診等の予約システムを導入するとともに、利用開始後の伴走支援により、がん検診の受診率向上への成果を上げている、千葉県八街市への視察研修を実施しました。

申請から支払までオンラインで完結

市全体のデジタル化に向けた新たな取り組みとして、LINEを活用した「スマホ市役所」システムを令和5年6月から導入、健康増進課でも本システムを活用したLINEによるがん検診の予約を開始しました。本システムでは、スマートフォンから24時間365日、申請から支払いまでをオンラインで完結できます。

次に、実際のスマートフォンの画面を見ながら、オンライン予約の手順や操作方法の説明がありました。

確認メッセージで受診忘れ防止も

予約内容の変更や取り消しなども、申込者が画面上から行うことができ、予約日の前日には確認メッセー

ジが届くことからも、受診忘れの防止や予約内容が確認できる機能もあります。受診率向上、人件費軽減の効果もあり、利用者と職員側の双方にとって、メリットが感じられるシステムとなっています。

窓口機能を自宅やスマートフォンから利用可能とし、住民目線で使いやすいシステムとして、導入の効果が十分期待できる事業だと実感し、八街市での研修を修了しました。



可燃ごみの減量化の取り組み

家庭から排出される可燃ごみは分別を徹底することで資源化できます。また、焼却による温室効果ガスも発生することから、可燃ごみの減量化は地球温暖化対策にもつながる取り組みです。こうした中、令和6年4月から「可燃ごみ専用袋」の名称を「燃やすしかないごみ専用袋」に変更し、生ごみの堆肥化等で、可燃ごみ削減の取り組みを進める茨城県取手市への視察研修を実施しました。

燃やすしかないごみ専用袋の導入

焼却量の削減、可燃ごみに含まれる不適物の混入防止や市民・事業者の環境意識を高めることを目的として、名称を変更しごみの削減に取り組んでいます。広報紙やSNSを活用した「燃やすしかないごみ専用袋」の周知を図ったことから、市民・事業者の分別意識が高まったことが減量化につながったものと考えられます。

生ごみ自家処理を普及促進 堆肥化も委託

家庭から排出される生ごみは、排出量削減のため生ごみ処理機等の購入者に対して補助金を交付し自家処理を促進しています。令和8年度からは、生ごみ処理容器

期 日 令和7年10月23日（木）
視察場所 茨城県取手市

「キエ一口」の普及を促進するための事業を開始できるように準備を行っています。また、常総環境センターでは、NPO緑の会エコクリーン常総に食品リサイクル堆肥事業化事業を委託して生ごみの堆肥化に取り組んでおり、堆肥場の見学も実施しました。

町では、令和7年4月から燃やせるごみの呼び方を「分けて減らした燃やせるごみ」に名称を変更してごみの減量化に取り組んでいますが、分別の徹底による再資源化や生ごみの堆肥化など、今後、ごみの減量化に取り組むにあたり大いに参考となり、大変有意義な研修がありました。



公民連携で進める リノベーションまちづくり

人口減少や少子高齢化など更なる社会情勢の変化が予想されていることから、移住・定住の促進、交流人口・関係人口の増加など地域活性化の取組を参考にするため、先進自治体である沼津市への視察研修を実施しました。

民間活力で新たな価値を

リノベーションのまちづくりは、民間主導により市内で増加する空き家などの遊休不動産や利用頻度の低下した公共施設・公共空間の活用事業を通じて新たな価値を生み出し、収益性のあるコンテンツを呼び込むことによりU・I・Jターン人材や沼津市に魅力を感じていただける方など、多くの方にとって楽しいまちに生まれ変わることを目標にしています。

青少年自然の家廃止に伴い、民間事業者のもつ優れたノウハウを導入し、既存の建物や周辺環境を活かした新たな価値の創造を目指した公民連携事業では、公募で選定された事業者による、公園一体型の宿泊施設を整備。また、商店街と連携したアーケードの整備や廃校した小学校のプールを活用した海ぶどうの養殖な

期　日 令和7年11月6日（木）
視察場所 静岡県沼津市

ど、代表的な事例の紹介がありました。

市独自の資源を活かしたまちづくり

空き家ありきの手法ではなく人的資源、歴史的資源、空間資源など地域資源を活用し、低コストおよびスピーディーにエリアの価値を生み出していくことが特徴です。民間は知恵を発揮して事業を行い収益を上げ、利益をまちへの再投資に期待し、行政は行政にしかできない役割を意識し、迅速かつ柔軟に民間の動きを支援していくとのことでした。この他にも、活発な質疑応答がされ、視察研修を修了しました。



自主防災組織の育成と避難所運営

近年、気候変動に伴い、災害が激甚化、頻発化とともに、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模地震の発生も懸念されています。大規模災害時には、行政による公助には限界があるため、「自分の安全は自分で守る」という自助や「地域の住民がお互いに助け合う」という共助が重要となります。

静岡県は、防災対策の先進県であり、自主防災組織を中心として地域防災力の強化を図っている先進自治体である島田市への視察研修を実施しました。

地域で共有 防災意識の向上へ

自主防災組織は、自治会や町内会単位で構成され、132の組織が設置されています。また、地区の人口や世帯数により規模はさまざまであり、数十名程度から数百名規模で組織され、地域の実情に応じた体制で活動しています。

島田市では、地域ごとの防災マップ作りを推進しており、ハザードマップから抽出した危険情報や街歩きによる危険箇所、有用情報などを地図化し、公民館等で掲示・共有しています。また、各家庭においては「マイ・タイ

期　日 令和7年11月7日（金）
視察場所 静岡県島田市

ムライン」や「わたしの避難計画」の作成を推進し、家庭と地域双方での防災意識の向上を図っていました。

トイレカーを完備

避難所でのトイレ不足の解消するため、3トントラックをベース車両とした自走式トイレカーを導入しました。普段は、イベント等で活用していますが、令和6年能登半島地震の際には、現地に派遣し、被災地支援を行なったとのことでした。

この他にも活発な質疑がされ、視察研修を修了しました。



町政に対する 一般質問

一般質問とは?

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。（持ち時間1人60分以内）
議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を編集委員会で編集し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P15

- 問 小学校統合再編の方針決定
その他の質問
指定地域共同活動団体制度を取り入れて
農機具マッチング事業の検討を



6 大野 陽康 議員

P17

- 問1 保険事業に係る各種健（検）診や予防接種等の実施
問2 学校におけるがん教育
問3 スポーツフェスティバルの取り組み
その他の質問
学校教育の現状



2 新井 寛雄 議員

P15

- 問1 財政運営の見通し
問2 太陽光発電施設に関して
問3 防犯カメラの設置に関して



7 宮尾 美千代 議員

P18

- 問1 人間ドック・脳ドック受診
問2 地域おこし協力隊
問3 吉見百穴と周辺の整備



3 吉田 克之 議員

P16

- 問 防災対策



8 秋山 真美 議員

P18

- 問1 電話リレーサービス、手話リンクの導入
問2 町民体育館等公共施設予約申請のオンライン化
その他の質問
子宮頸がん検診単独法の導入
ふるさと納税の使い道
八丁湖公園と道の駅への防犯カメラ設置



4 福田 妙子 議員

P16

- 問1 高齢者補聴器購入費助成事業
問2 介護保険施設・訪問介護
問3 さくら堤公園の桜
問4 路面標示等の交通安全対策



9 杉田 しのぶ 議員

P19

- 問 吉見町立統合小学校建設基本設計の見直し
その他の質問
町長の町財政に対する認識を問う



5 柳谷 泉 議員

P17

- 問1 県道東松山鴻巣線
問2 ごみ集積所とごみ捨て問題
その他の質問
機構改革



スマホで
二次元バーコードをチェック
各議員の動画が見られます。



開校の時期は

【町の答え】

できる限り早い開校が望ましい

» 福井 學 議員



小学校統合再編

問 町は1校に統合再編する方針を決めたが。

答 総合教育会議において新たな方針が決定された。この方針では小学校6校を1校に統合し、学校の位置は吉見中学校の敷地内とする。

問 学校施設、整備スケジュールなど一部を見直すと方針にあるが。

答 統合再編の方法と学校の位置は、これまでの基本計画から変更はない。長期的視野に立ち施設整備費の縮減を図るために、中学校施設も検討対象とし、小学校と中学校で学校施設を将来、共同利用する検討に入る。基本計画等の見直しに一定期間を要することから、令和10年4月の開校は困難。

問 小中一貫教育への将来的な移行が「検討すべき事項」として盛り込まれているが。

答 教育行政の動向や教育委員の意見を踏まえ、中学校との連携を強化し、その先にある小中一貫教育への移行を検討することは重要なことと認識している。

問 開校の時期は。

答 町内の小学校は1学年1学級でクラス替えができない、一部は複式学級に該当する児童数となっている。学校施設も老朽化し、教育活動や学校運営に影響が及ぶ懸念も。子どもたちを取り巻く現状を踏まえると、できる限り早い開校が望ましい。

問 住民が学校へ寄せる期待にどう応える考えか。

答 現在の基本計画等をいったん立ち止まって検討したことで、将来にわたる経済的負担の軽減や小中一貫教育への移行も視野に入った。統合小学校の建設を、新しい教育のスタートにしたい。子どもたちの未来に向けて、皆さんとともに想いをもって取り組んでいきたい。



今後どのように見通しているか

【町の答え】

大きな余裕がある状況ではない

» 新井 寛雄 議員



問1 人口減少により町税収入など自主財源の確保が難しくなる中で、今後の財政運営をどのように見通しているか。また、財政的な余裕度について町としてどのように認識しているか。

答 本町の人口は年々減少しており、これに伴い、町税収入をはじめとする自主財源の確保は徐々に厳しさを増していくものと考えている。さらに、歳入の約50%を占める地方交付税などの依存財源についても、今後は人口減少を要因としてその交付額に影響が及ぶ可能性があるものと考えている。こうした状況を踏まえると、今後の町の財政運営に当たっては、財政的に大きな余裕がある状況にはないものと認識している。

問 今後どのような方針で財政運営を行っていくのか基本的な考え方を伺う。

答 「選択と集中」の考え方を基本とし、将来世代に過度な負担を残さないことを重視していく。

問2 太陽光発電施設に関して、事業終了後の撤去は町としてどのように考えているか。

答 引き続き状況把握等に努め、適正な維持管理・撤去処分等について、事業者に指導していく。

問3 防犯カメラに関して、町道に設置している箇所はあるか。

答 公共施設やそのほか必要とする用途に応じ設置している。町道に町が設置している防犯カメラはない。

問 個人での設置などに関して町として何らかの形での補助や助成の制度はあるか。また、今後についてはどうか。

答 防犯カメラの設置は、一定程度犯罪抑止効果があるものと認識しているが、現在、住民や団体に対する補助金の創設については、予定していない。



将来世代に過度な負担を残さない財政運営を

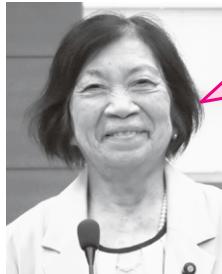


自主防災組織育成のための対策は

【町の答え】
地域が抱える課題に取り組む
» 吉田 克之 議員

防災対策

- 問1 防災フェアだけでなく、町民が参加する地域型の防災訓練が必要だが対策は。
- 答　自主防災組織の防災指導、講話および小中学校等への防災教育など、あらゆる機会を捉えて、幅広い世代を対象に住民の意識の向上に努めていく。
- 問　地域コミュニティの希薄化が進むなか、自主防災組織を育成するための対策は。
- 答　自主防災組織リーダー養成講座、防災ハザードマップ説明会を実施したほか、参加要請のあった自治会や自主防災組織が行う各種訓練に出向き、防災意識の啓発に努めている。今後も地域が抱える課題の解決に取り組む。
- 問　自主防災組織が認識されてない行政区も多く、町で手を差し伸べる必要があるが。
- 答　「区長さんの手引き」に支援制度について掲載しているので、要請があれば可能な範囲で支援を行う。
- 問　避難所に行くまでの要配慮者や避難行動要支援者など自力避難が困難な人の町の対策は。
- 答　民生委員・児童委員を中心となり、災害時要援護者名簿の作成に取り組んでおり、この名簿を基に個別避難計画の作成が進められている。災害時に実効性があるものにするため、福祉専門職の参画が重要で、引き続き各課で連携を図り作成を進める。
- 問　地区防災計画や個別避難計画の作成が重要視されているが、町で作成指導する対策は。
- 答　地区的特性に応じた計画を作成することは地区防災力の向上にもつながることから、作成を希望する自治会等がある場合は、県などと連携し支援に努める。



町の助成金2万円の引き上げは

【町の答え】
他自治体の状況等を参考に検討
» 日本共産党 福田 妙子 議員

補聴器助成制度

- 問1 高齢者補聴器購入費2万円の助成金を引き上げる考えは。

答　現時点では、具体的な検討は行っていないが、他自治体の状況等を参考に検討していく。

- 問　高齢者補聴器購入費助成事業は令和8年3月31日までの時限措置であるがいかがか。

答　一定の利用実績があることや県内において実施している自治体が増加傾向にあることから、事業の継続に向けて必要な事務を進める。

- 問2 町の介護保険施設・訪問介護の状況は。

答　特別養護老人ホームの利用者数が160名、介護老人保健施設の利用者数が86名となっており、いずれも利用者数は増加傾向にある。

- 問　訪問介護・看護者の雇用および介護を担う人材確保は。

答　高齢化により介護需要が高まる一方、介護・看護に従事されている人の雇用環境は、依然として厳しい状況にある。特に訪問介護は、令和6年度の介護報酬改定に伴う基本報酬の引き下げが、事業運営や人材確保に影響を及ぼしている。

- 問3 さくら堤公園の桜の木の状況は。

答　まもなく樹齢50年をむかえ老木化も進んでいる。

- 問　枯れ枝・樹木の対応は。

答　桜の木の剪定作業を年1回、害虫防除を年2回実施。害虫に効果がある樹幹注入剤を試験的に施工した。

- 問4 センターライン等の路面標示の整備は。

答　白線が薄れて危険を感じる箇所は、引き直し等実施していく。

- 問　道路標識の再確認は。

答　標識の破損等、適宜総合的に対応する。



夕刻の交通に不安・消えかかった道路のセンターライン

東松山鴻巣線 完成はいつ頃なのか

【町の答え】
早期完成に向けて県と取り組む
やなぎや いずみ
» 柳谷 泉 議員



問1 県道東松山鴻巣線の4車線化の進捗状況は。

答 令和7年11月末現在の進捗状況として、用地買収は全体面積の99.3%の用地契約が完了し、全体工事費の87%まで進捗している。

問 県道東松山鴻巣線の4車線化の完成はいつ頃なのか。

答 完成時期は県からは示されていない。令和7年度は用地契約がおおむね完了し、横見川に架かる新道橋の架設をはじめ、これまで町で用地買収を進め、引き渡しが完了した区間の工事が着々と進捗しており、事業の進展にさらなるスピードアップがされると認識している。引き続き、県と町が相互に連携を図り早期完成に向けて県と一丸となって取り組んでいく。

問 荒川右岸堤から上尾道路接続予定地点までの予定は。

答 埼玉県が事業主体となり都市計画決定に向けた手続きを進めている。地元説明会や公告・縦覧が行われている段階であり、都市計画決定後には路線・用地測量や設計業務など進めていくとのこと。引き続き、県との連携を密に、早期事業着手に向けて取り組んでいく。

問2 ゴミ集積所の補助金を増額する考えは。

答 補助金の増額など制度の見直しについては調査・検討していく。



補助金の活用をしたゴミ集積所

各種健(検)診等の受診状況は

【町の答え】
全国や県の平均をおおむね上回る
おおの はるやす
» 大野 陽康 議員



問1 町で行う特定健診、健康診査の受診率はどの程度か。

答 令和6年度の受診率は、特定健診44.3%、健康診査24.7%となっている。

問 帯状疱疹ワクチンの予防接種費用の一部公費負担について、町はどのような対応になっているか。

答 それぞれ1回につき、生ワクチン接種の助成額が4830円、不活化ワクチン接種の助成額が5990円となっている。

問 子宮頸がん予防ワクチンも定期接種の対象であるが、キャッチャップ接種と合わせ、接種状況はどうか。

答 令和6年度の町の接種状況は、定期接種が17.3%、キャッチャップ接種が22.0%であり、どちらも全国および県平均を上回っている。

問 がん検診を受診する人数の割合はどの程度か。

答 町では健康増進法に基づき6つのがん検診を実施している。主な受診率(令和5年度)は、胃がん7.2%、肺がん6.7%、大腸がん7.2%、子宮頸がん12.0%、乳がん16.6%であり、子宮頸がん検診以外の受診率で県平均を上回っている。

問2 がん教育の学校における取組はどのようにになっているか。

答 小学校では体育科の保健領域(特に第5・6学年)で、中学校では保健体育科の保健分野で、生活習慣病の一つとして、がんについて学習している。また、外部講師を招いての講演会を実施している。

問3 来年度以降の体育祭はどのようにになるか。

答 従来の体育祭の開催方法に戻すことはなく、スポーツフェスティバルの形を継承する。また、それに合わせて体育委員制度を廃止する予定である。



積極的に各種健(検)診を受診し
健康の保持・増進を図りましょう



受診率をあげるために啓発は

【町の答え】
周知・啓発に努める

» 公明党 宮尾 美千代 議員
みやお みちよ

人間ドック受診

問1 町の健(検)診・がん検診の受診率は県が目指す目標より低い。健診を受けるのに自分の都合の良い日に一緒にいろいろな検査を受けたいとの声がある。また、人間ドック・脳ドックの補助制度があることを知らない方がいる。受診率をあげるために啓発は。

答 令和6年度、国民健康保険被保険者の特定健診受診率は44.3%。県の目標指標60%に達していない。国民健康保険に加入されている30歳以上で特定健診等の助成を受けてない方が人間ドックを受けた場合は2万5000円を上限に助成。受診率向上のための周知・啓発に努める。

問 受診率をあげるために助成額を増やすことは可能か。

答 引き上げについては、検討はしていない。

問2 地域おこし協力隊の町の受け入れ体制とサポートのあり方、今後の活用方針は。

答 受け入れ体制は産業振興課を窓口として関係課、関係団体との調整を図り、日々の業務をサポートしている。「吉見いちご」に焦点をあて、その魅力を広く発信することで町外から誘客を促進し、いちご農家の新たな担い手獲得につなげること、またインスタグラムを通じて都市部から吉見町への誘客を図る。

問 広報よしみに活動を掲載することも良いのではないか。

答 より多くの方に知つていただけるよう町広報とも連携しPR機会の確保に努める。

問3 吉見百穴と周辺の整備は。

答 観光資源として魅力的な場所とする必要がある。駐車場敷地や隣接する公園への植樹、桜のひこばえの萌芽更新など、複数の可能性を検討している。

※ひこばえの萌芽更新…樹木の切り株の根元から新しく生えてくる芽を成長させる手法

- 問 診
- 身体測定
- 視力検査
- 聴力検査



- 血液検査
 - 血圧測定
 - 尿 検 査
 - オプション
- 健診を受けましょう



手話リンクの導入の考えは

【町の答え】
導入自治体を参考に検討する

» 公明党 秋山 真美 議員
あきやま まみ

窓口改革推進

問1 電話リレーサービスは電話でコミュニケーションをとることが難しい聴覚障害者が、パソコンやスマートフォン等のビデオ通話機能を使い、通訳オペレーターが手話や文字で相手との会話を仲介するもので、24時間・365日利用できる。令和7年4月、電話リレーサービスを使用し、自治体や企業の問い合わせ窓口に設定した手話リンクというシステムがリースされた。手話リンクの導入について伺う。

答 従来は筆談等に頼らざるを得なかった相談が、より円滑に行えるようになり、手話をコミュニケーションの手段とする方などが安心して行政サービスを利用できる環境が整えられ、窓口等で対応する職員が手話を習得していくなくても迅速かつ的確な対応が可能になる。問い合わせ窓口のバリアフリー化が図られるものと考える。県内の導入している自治体の運用状況等を参考にしながら検討を進める。

問2 町民体育館等公共施設の予約状況確認や予約申請が24時間いつでもどこでもパソコンやスマートフォン等から行うことが可能になるオンライン化について伺う。

答 オンライン化は行政サービスのDX化を促進し、施設利用者の利便性向上が図れる時代の流れに沿った取組と認識している。課内で協議する機会を設け、先進自治体の導入事例などの情報共有を図り、複数の予約システム業者のデモンストレーションを行うなど、調査・研究を進めている。今後は費用対効果やシステム導入の課題整理を含めどのような予約システムが、より最適で利用者の利便性向上が図れるか検討を進める。



スピード感をもって進めるのか

【町の答え】
最終的な判断は町長の予算編成権

» 杉田しのぶ 議員

統合小学校建設

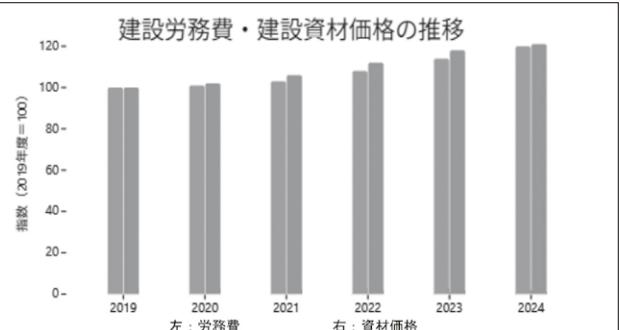
問 令和5年度に児童、教職員、保護者を対象にしたアンケート調査、学校現場へのヒアリング、複数回にわたる統合再編準備委員会で、施設配置計画案の検討を踏まえて基本設計を完成させた。こうした経過をなかったものとするような大規模な見直しを行えば、基本設計をやり直す必要が生じ、新たな設計費用が発生するだけでなく、さらなる建設費増加も考えられるのではないか。

答 一定の時間はかかるが、長期的視野に立って計画等の見直しを行い、将来にわたる負担軽減、既存施設有効活用、小中一貫校移行も視野に入れ検討を進める。財政面、まちづくり、教育面すべてにおいて「新しい教育のスタート」となるよう進めたい。

問 建設労務費、建設資材上昇、既存小学校の修繕料、光熱水費を合わせると1年遅れで約3億円、2年遅れで約6億円、時間とともに余分な経費がかかる。この分を消化した上で、建設費縮減のための見直しを行えば、建築資材のグレードを下げたり、必要な部分の削減も考えられる。後々に後悔しない学校を造ることは未来への責任。時間的、財政的影響を自覚し、スピード感をもって進めることが求められるが、町長、教育長の考えは。

教育長答 できるだけ早期に着手し、子どもたちの学びの環境を整えることが望ましいが、財政面の課題や物価高騰の影響は十分理解しており、最終的な判断は、町長の予算編成権に基づくもの。スピード感をもって事業を進めていく立場で、今後も引き続き町長や町部局との連携を密にしていく。

町長答 開校時期の遅れもあるが、将来にわたって健全な財政運営、教育運営をしていきたい。



一部事務組合報告

新たなごみ処理施設等整備基本計画を進める

埼玉中部環境保全組合議会定例会 » 大野陽康議員

日 時 令和7年10月15日(水) 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席議員 岩崎勤 杉田しのぶ 福井学 大野陽康

事務局で実施した調査結果の報告書を踏まえ、現施設・埼玉中部環境センターの再生は難しいとの考え方から、正副管理者会議において、今後、現施設の再生は検討せず、引き続き、新たなごみ処理施設等整備基本計画を進めることができます。

付議された議案

○議案第9号 令和7年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出に1862万8000円を追加し、予算総額を10億6378万5000円とする。

○議案第10号 令和6年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定

歳入10億1660万5540円、歳出9億7602万3737円、繰越金4058万1803円

慎重審議の上、どちらも原案のとおり可決、認定されました。

令和7年4月～令和7年9月の搬入ごみ量

	組合全体	吉見町
可燃ごみ	1万6982.27t (前年比842.88t減)	1816.35t (前年比299.56t減)
粗大ごみ	730.61t (前年比25.24t減)	95.05t (前年比10.21t減)
合計	1万7712.88t (前年比868.12t減)	1911.40t (前年比309.77t減)

令和8年度町の負担金減少へ

北本地区衛生組合議会定例会 » 宮尾美千代議員

日 時 令和7年11月5日(水) 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席議員 福田妙子 伊藤えりか 宮尾美千代

令和7年1月から9月までの吉見町の搬入量は3914.53kLで、849.97kLの減量、17.8%の減となっています。令和8年度の吉見町の負担金額は5190万3000円で、15.4%の減になります。

付議された議案

○議案第11号 北本地区衛生組合職員の育児休業等に関する条例及び勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

○議案第12号 令和7年度北本地区衛生組合一般会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億2231万8000円とする。

原案のとおり可決されました。

吉見太鼓 みんなを元気に!



恒例の百穴まつり 大勢の聴衆を前に演奏

吉見太鼓は、子どもから大人まで老若男女、さまざまな年齢層で集まり、週1回アットホームな雰囲気で練習を行っています。現在メンバーは17名です。

リーダーの松澤真琴さんが、太鼓に触れたきっかけは、地域で吉見音頭を演奏することになったのが始まりでした。



20周年記念コンサート



リーダーの松澤真琴さん

吉見太鼓は結成されて昨年で20周年を迎えるました。町内外のお祭り等に進んで参加していただき、イベントを盛り上げ、地域の皆さんに喜んでいただいている。太鼓を通じて、これからもみんなを元気にしてください。
(宮尾)

編集後記

議会だよりは「町民のみなさん
に議会を身近に感じてもらうため
の入口」です。

議会の活動をわかりやすく伝えることはもちろん、それぞれ立場の異なる議員の集合体が議会であるからこそ、議会発行広報紙としての役割を果たすべく、作成してきました。

活発に一般質問、議案審議が行われることはいい反面、予定ページ数をオーバーし、調整が必要になることもあります。

町の予算も縮小傾向にあり、議会だよりも例外ではなく、掲載内容の見直しも検討していくことになりそうです。読者のみなさんのご意見もぜひお聞かせください。
(杉田)

※画像の転載、複製、改変等は禁止いたします。

議会だより編集特別委員会

委員長	福井 學
副委員長	杉田 しのぶ
委 員	宮尾 美千代
委 員	福田 妙子
委 員	伊藤 えりか
相談役(議長)	宮崎 雄一

この議会だよりは再生紙を使用しています。